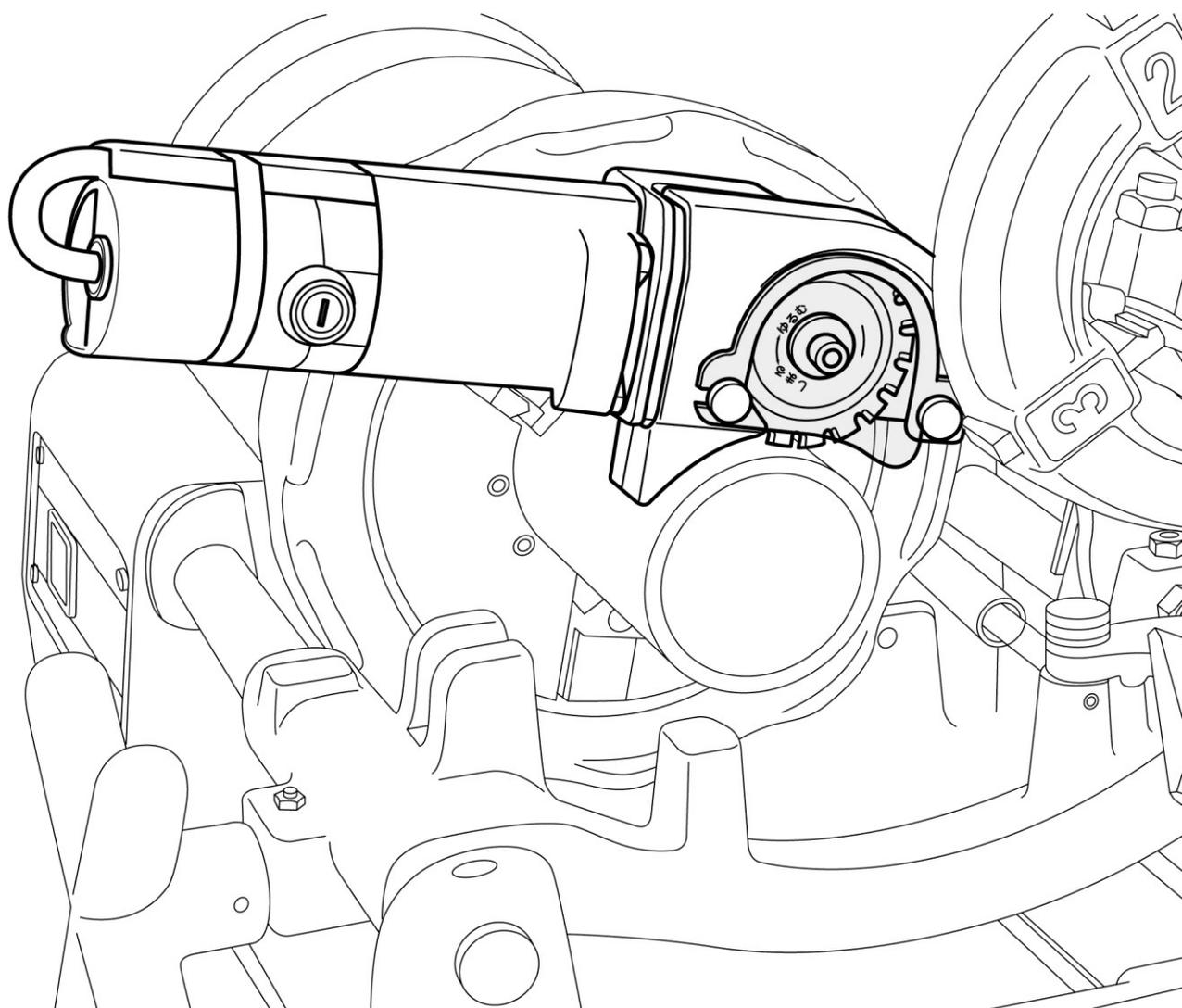


丸のこ

取扱説明書



〔ご使用前には必ず本書をお読みください。〕

丸のこ

安全にご使用いただくために

このたびは、丸のこをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡してください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取り扱いで本機の性能を充分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を使用用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。

- ・ご注文の商品の仕様と違いはないか。
- ・輸送中の事故等で破損、変形していないか。
- ・付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

(本書記載内容は改良のため、予告なしに変更することがあります)

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の3つのレベルに分類しています。



危険

本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。



警告

本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。



注意

本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、軽症または中程度の障害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

記号



感電



刃物



有毒ガス



マスク



はさまれ



高温



飛散



棒巻き込まれ



爆発



火災



転倒



アース



回転物



その他



取扱説明書



騒音

警告ラベル・注意ラベル

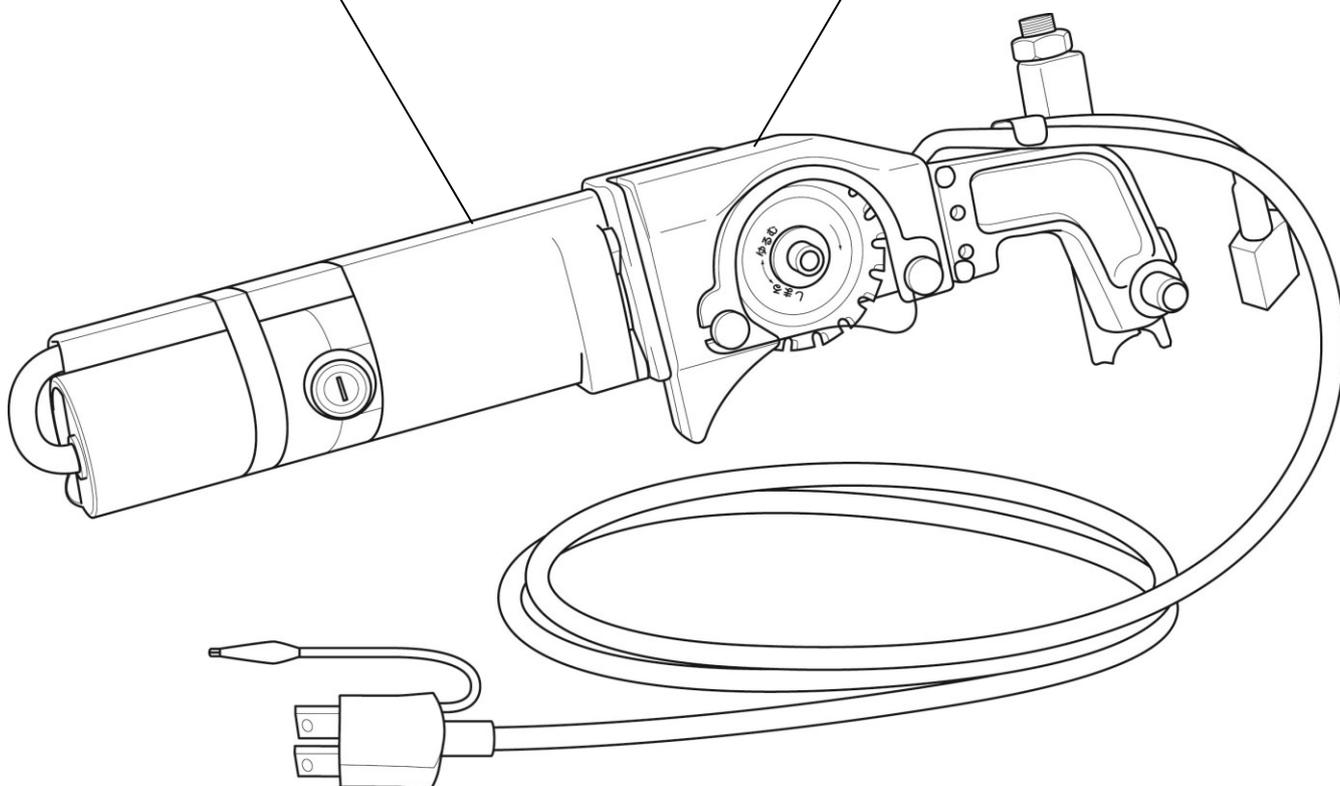
□本機には次の警告ラベルと注意ラベルが貼付してあります。安全確保のための説明が書かれていますのできれいに保ち、はがれたり、見づらくなった場合は、弊社へ請求してください。そして必ず同じ場所に貼り直してください。

注意

押し付け厳禁 刃物が欠けます

警告

- ご使用前に取扱説明書を必ずお読みの上お使いください。
- 使用するノコ刃に亀裂、割れがないことをご確認の上、必ず試運転を行ってください。
- 作業中は保護メガネをご使用ください。



丸のこ

ご使用上注意

⚠ 危険

感電



- ◆感電し、死亡することがあります。必ずアースをしてください。
- ◆濡れた手で電源プラグを電源コンセントに差し込まないでください。

アース



- ◆雨中や本機内部に水の入りやすい場所では、使用しないでください。
- ◆電源プラグ、電源コードや延長コードが損傷していたら、すぐに交換してください。
- ◆電源コードを持って電源から引き抜いたり、コードの上に本機を置いたりしてコードを損傷させないでください。
- ◆延長コードはアース線を備えた3芯キャプタイヤケーブルを使用し、屋外使用の場合は特に気を付けて丈夫な物をご使用ください。

回転物



- ◆材料、ハンマーチャック、スクロール、のこ刃は作業中に回転します。袖などが巻き込まれないように注意してください。

⚠ 警告

火災



- ◆発熱、発煙、発火の原因となるので、電源電圧は100Vでご使用ください。
- ◆電源プラグ、電源コードや延長コードが損傷していたら、すぐに交換してください。
- ◆のこ刃の摩耗等の過負荷で、モータが停止するような無理な使い方はしないでください。
- ◆本機が発熱や発煙した場合は、むやみに分解せず点検や修理を依頼してください。

爆発



- ◆アース線をガス管に取り付けると爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。
- ◆引火、爆発の恐れがありますのでガソリン、シンナー等の可燃性の液体やガスの近くでは使用しないでください。

刃物



- ◆刃物で手を切る恐れがありますので、チェーザ、リーマ、丸のこの刃の交換は、必ず手袋をしてください。
- ◆丸のこ等はスイッチを切っても、惰性で刃が回転します。動いている刃物や回転部に触れないでください。
- ◆切断面は鋭利になっています。直接手で触れないでください。
- ◆刃物や回転部に触れる場合は、本機のスイッチをOFFにし電源プラグを抜いてください。

 警告

回転物



- ◆電源プラグを電源に差し込むときは、スイッチがOFFになっていることを確認してください。スイッチがONの状態では電源に差し込むと、本機が急に動き事故の原因になります。
- ◆使用中は、回転部に手や顔を近づけないでください。回転部や切粉に巻き込まれ、ケガをします。
- ◆切断、リーマ、ねじ切り等の作業は手袋を使用しないでください。巻き込まれてケガをします。
- ◆材料、ハンマーチャック、スクロールは作業中に回転します。ネクタイ、ネックレスや袖口の開いた服装は巻き込まれてケガをします。着用しないでください。
- ◆長い髪は回転部に巻き込まれてケガをします。帽子やヘアカバー等で覆ってください。
- ◆本機を使用しない場合や、停電、保守、点検の場合はスイッチをOFFにし電源プラグを抜いてください。本機が急に動き事故の原因になります。

棒巻き込まれ



- ◆回転させたまま放置しないでください。他の人が巻き込まれてケガをします。
- ◆長い材料を加工する場合には、パイプ受け台を使用してください。材料が歪み回転中に振れたり、材料の重みで本機が浮き上がる等、不安定にならないようにしてください。

飛散



- ◆ねじ切りオイルや切粉が目に入ります。加工中は保護メガネをご使用ください。
- ◆切粉をエアで吹き飛ばさないでください。目に入り失明することがあります。

マスク



- ◆粉じんが口や鼻に入る恐れがあります。粉じんの多い加工では、防じんマスクをご使用ください。

高温



- ◆切断直後ののこ刃、切粉や切断面は高温になっています。直接手で触れないでください。

その他



- ◆運搬中にサドルが動かないように固定し、本機の底に手をかけて持ち上げてください。スクロールやリーマを持って運ばないようにしてください。
- ◆重量物ですので、特に持ち上げるときはひざを曲げ、腰に負担がかからないようにしてください。
- ◆ねじ切りオイルで汚れた本機は滑りやすいので、持ち上げる時足の上に落とさないでください。

丸のこ

警告

その他



- ◆ダイヘッド側が高くなるように本機を置かないでください。パイプ材ではねじ切りオイルがパイプ内側から漏れ、床を汚します。
- ◆転倒してケガをしますので無理な姿勢で作業をせず、足元をしっかりとらせてください。
- ◆疲労、飲酒、薬物等の影響で作業に集中できないときは使用しないでください。
- ◆スイッチをONにする前に、点検や調整に使った工具を本機から取り除いてください。
- ◆指定の付属品やアタッチメント以外は使用しないでください。
- ◆運転中本機の異常（異臭、振動や異常音等）に気付いたときはただちに停止し、本書の「6. 修理・サービスを依頼される前に」を参照してください。
- ◆修理はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ◆本機は該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。

注意

感電



- ◆電源コードの上に本機や材料を置かないでください。コードを破損させ、漏電の原因になります。

はさまれ



- ◆タイヘッドや丸のこを下へ降ろすときに手をはさまないように、手の位置に注意してください。

転倒



- ◆長尺の材料をセットしたまま本機から離れないでください。材料でつまずきケガをします。

取扱説明書



- ◆付属品の取り付けが不十分だと外れたり落ちたりし、ケガや事故の原因になります。本書にしたがって、確実に取り付けてください。

騒音



- ◆騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

注意

その他



- ◆使用する前に保護カバーや本機に損傷がないか点検し、正常に作動するか確認してください。
- ◆ねじ切りオイルが入っているときに持ち運ぶと、振動でオイルが飛び散り衣服を汚すことがあります。
- ◆本機やダイヘッドを落としたりぶつけた場合は、破損、亀裂、変形等がないか点検してご使用ください。異常があるまま、ねじ切りをしても精度がでない他、ケガや事故の原因になります。
- ◆長時間本機から離れるときは、電源プラグを抜いてください。
- ◆材料がねじ切りオイルで濡れていると滑りやすくなります。足元に落とさないよう注意してください。
- ◆押しボタンを押したままスイッチをONにしたり、回転中に押しボタンを押さないでください。本機を損傷するばかりでなく、ケガや事故の原因になります。
- ◆ハンマーチャックから70mm以内での切断はやめてください。切断完了前に丸のこがチャックに当り機械を破損する場合があります。
- ◆作業台や作業場は整理整頓し、いつもきれいにし十分な明るさを保ってください。
- ◆本機に担当者以外を近づけたり、操作させたりしないよう管理してください。
- ◆本機を使用しないときの保管は、乾燥した場所で子供の手が届かない、または鍵のかかる場所にしてください。
- ◆騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。状況に応じて遮音壁を設けて作業をしてください。

目 次

1. 概要	8
2. 製品構成	
1) 本機の名称	8
2) 仕様	9
3) 附属品	9
4) 別販売品	9
3. 取付方法	10
1) ビーバー25	11
2) ビーバー50・ビーバー50G	12
3) ビーバー80	13
4) ビーバー100	14
4. 操作	
1) 運転前の準備	15
2) 材料をセット	15
3) 切断	16
4) 使用後の清掃	17
5. 保守・点検	
1) 各部の交換	
1-1) のこ刃の交換	18
1-2) カーボンブラシの交換	19
2) 日常の点検と手入れ	19
6. 修理・サービスを依頼される前に	20
7. 電気配線図	20

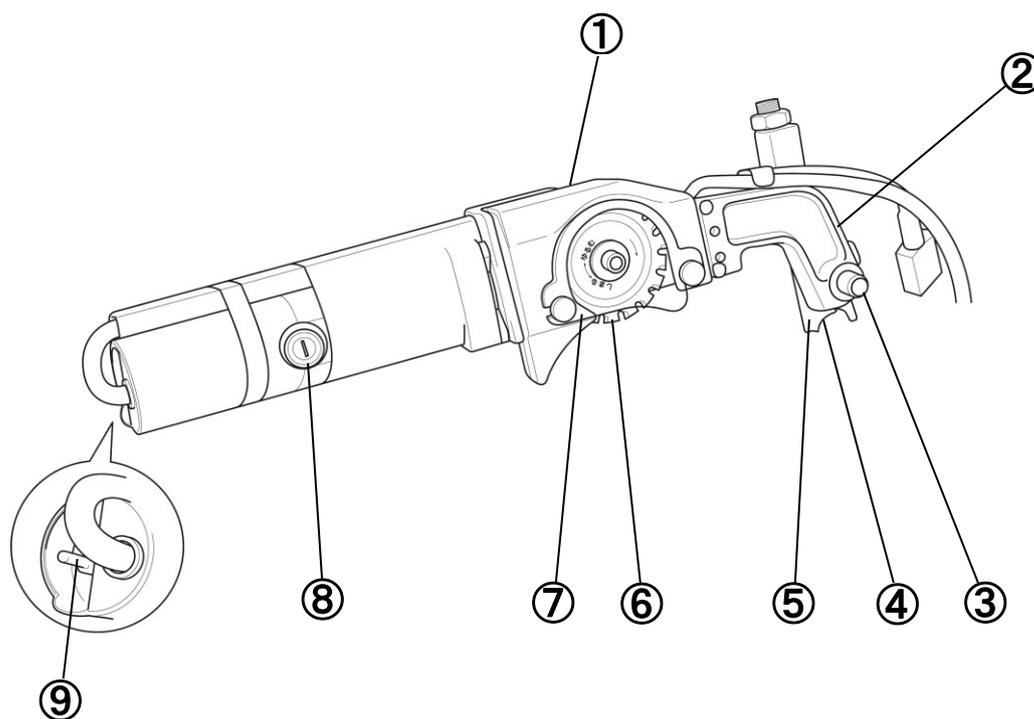
1. 概要

- 本機はパイプねじ切り機に搭載し、パイプやロッド等の材料の切断を行います。
本機の構成は、回転をあたえるモータ、本機を保持するブラケット、パイプやロッド等を切断するのこ刃、切断時本機を固定させるブレーキアーム等です。

2. 製品構成

1) 各部の名称

1-1) 本機



- | | | | |
|---|---------|---|-------------|
| ① | プッシュボタン | ② | ブラケット |
| ③ | カッターピン | ④ | ブレーキゴム |
| ⑤ | ブレーキアーム | ⑥ | のこ刃 |
| ⑦ | アクリルカバー | ⑧ | ブラシホルダーキャップ |
| ⑨ | スイッチ | | |

丸のこ

2) 仕様

□ 対応機種によりより次の6機種があります。

コードNO.	MNA13	MNB53	MNB83	MNA43
適応機種	ピーパー25	ピーパー50・ ピーパー50G	ピーパー80	ピーパー100
切断能力	1/4”~1” (8A~25A)	1/4”~2” (8A~50A)	1/4”~3” (8A~80A)	1/4”~4” (8A~100A)
モータ	100V 単相シリースモータ 780W 50/60Hz			
回転数	5700 min ⁻¹ (rpm)			
質量	4.0 kg	4.5 kg	4.8 kg	4.8 kg
外寸 (L×W×H)	410×86.5×111 mm	430×86.5×124mm	461×86.5×135 mm	510×86.5×145 mm
ノコ刃	NO. MN080 φ80 mm(外径)×1.8 mm(刃厚)×18 p(刃数)			

★仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

3) 付属品

コードNO.	MNA13		MNB53	
適応機種	ピーパー25		ピーパー50・ ピーパー50G	
付属品	MN241 MN080 86004 MN132	MN取扱説明書BE 丸のこ替刃 六角棒 ϕ 6mm MN ϕ ン抜き棒・細 (丸のこ単品仕様を 購入の場合のみ)	MN241 MN080 86004 MN163	MN取扱説明書BE 丸のこ替刃 六角棒 ϕ 6mm MN ϕ ン抜き棒・太 (丸のこ単品仕様を 購入の場合のみ)

コードNO.	MNB83		MNA43	
適応機種	ピーパー80		ピーパー100	
付属品	MN241 MN080 86004 MN163	MN取扱説明書BE 丸のこ替刃 六角棒 ϕ 6mm MN ϕ ン抜き棒・太 (丸のこ単品仕様を 購入の場合のみ)	MN241 MN080 86004 MN163	MN取扱説明書BE 丸のこ替刃 六角棒 ϕ 6mm MN ϕ ン抜き棒・太 (丸のこ単品仕様を 購入の場合のみ)

4) 別販売品

コードNO.	MN080	MN081
名称	丸のこ替刃鋼管用	丸のこ替刃SUS管用

3. 取付方法

 警告

感電



- ◆感電し、死亡することがあります。必ずアースをしてください。
- ◆延長コードはアース線を備えた3芯キャプタイヤケーブルを使用し、屋外使用の場合は特に気を付けて丈夫な物をご使用ください。

爆発



- ◆アース線をガス管に取り付けると爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。

 注意

火災



- ◆発熱、発煙、発火の原因となるので、電源電圧は100Vでご使用ください。

刃物



- ◆丸のこのスイッチをOFFにしても、刃はしばらく回転しています。絶対に触れないでください。
- ◆刃を回転させたまま、放置しないでください。
- ◆丸のこ取付・取外しの際に誤ってハンマーで手を叩かないように注意してください。

高温



- ◆切断直後の丸のこの刃や切粉は高温です。素手で触れないでください。

その他

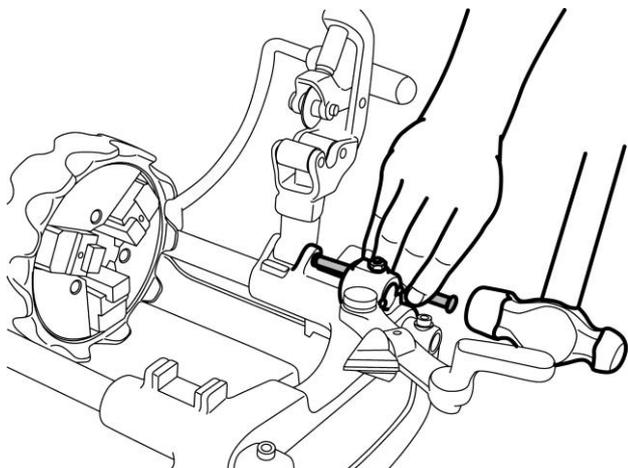


- ◆必ず手袋をして、取り付けや刃物の交換をしてください。
- ◆本機のスイッチをOFFにし電源プラグを抜いて、丸のこのスイッチをOFFにし丸のこを本体に取り付けます。
- ◆丸のこを取付けるときには、刃物の「刃先」の部分を持たないようにしてください。事故やケガの原因になります。
- ◆刃物が露出しているとケガをします、必ずアクリルカバーを付けてご使用ください。
- ◆丸のこを材料に押し付けしないでください。刃が欠けます。
- ◆丸のこの押しボタンを押したままでスイッチをONにしたり、回転中に押しボタンを押さないでください。本機を損傷するばかりでなく、ケガや事故の原因になります。

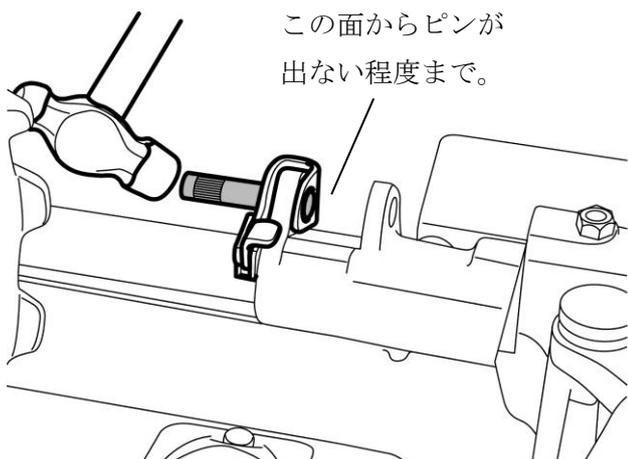
丸のこ

3) ビーバー25への取付方法

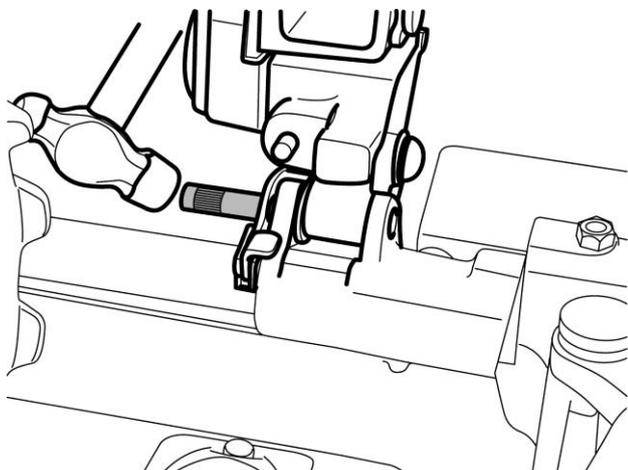
1. 付属のピン抜き棒と、お手持ちのハンマーでスプリングピンを抜いてください。



2. カッタピンを差し込んでください。



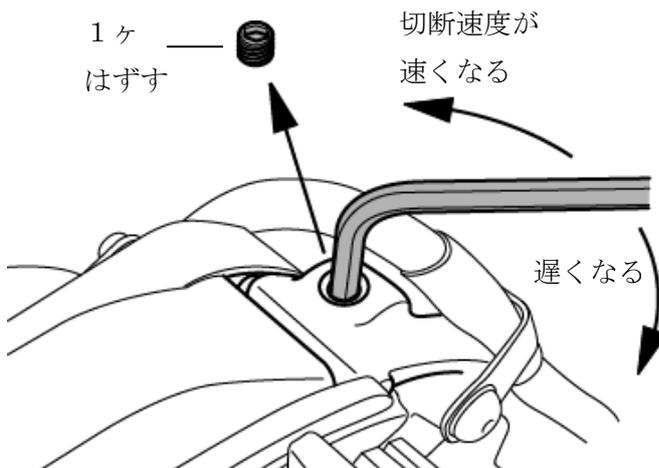
3. 丸のこブラケットを立てた状態に取り付けてください。



4. 丸のこのねじ切り機接続用メスプラグにねじ切り機の電源プラグ差し込んでください。
(P 11 5. 参照)

・切断時間の調整方法

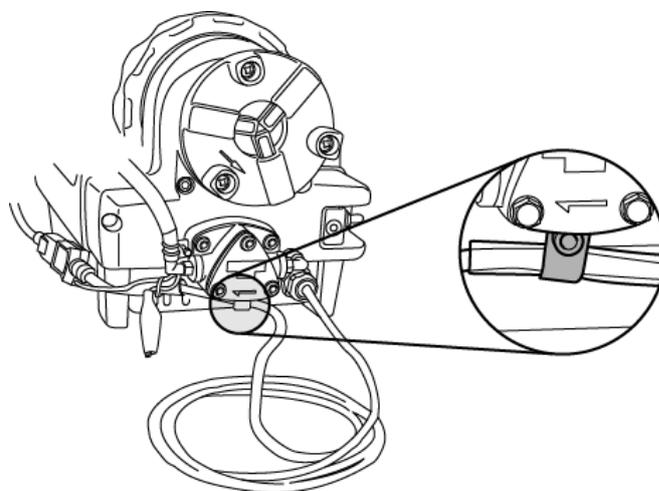
切断時間の目安は15Aを新品刃で5~6秒。
(範囲外の場合は調整してください。)



▲ 注意

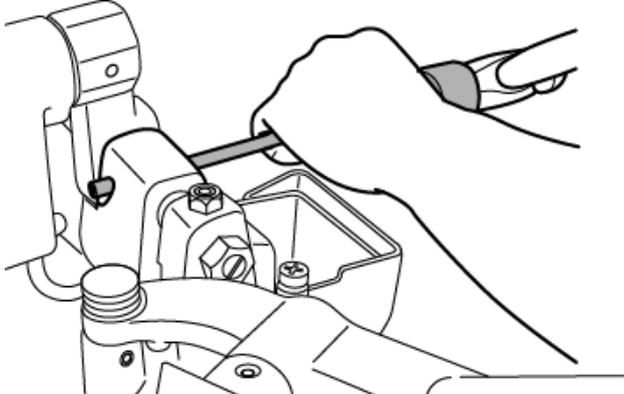
その他 ▲ 切断時間の調整で目安時間よりも速くしないでください。
刃が欠けます。

・コードフック取付場所

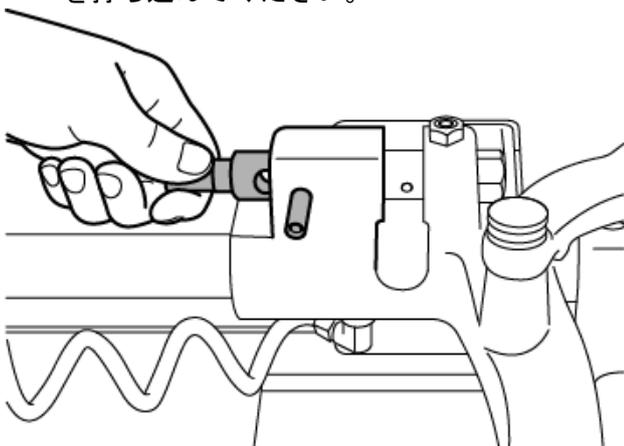


4) ビーバー50・ビーバー50Gへの取付方法

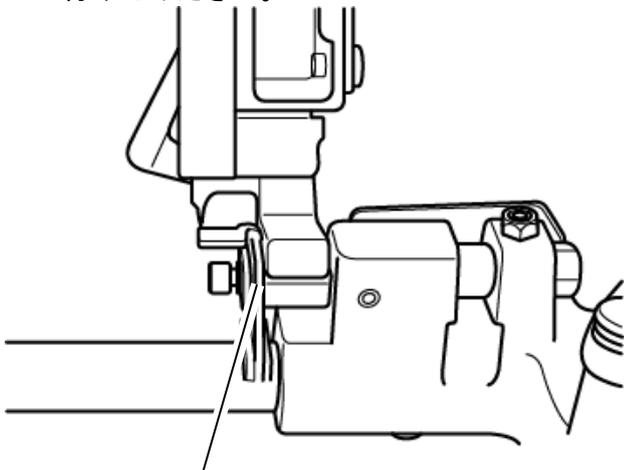
1. 付属のピン抜き棒と、お手持ちのハンマーでスプリングピンを抜いて、カタブラケットをカタピンと共にサドルより外してください。



2. 丸のこのカタピンは、スプリングピンの穴位置を合わせて差し込み、スプリングピンを打ち込んでください。

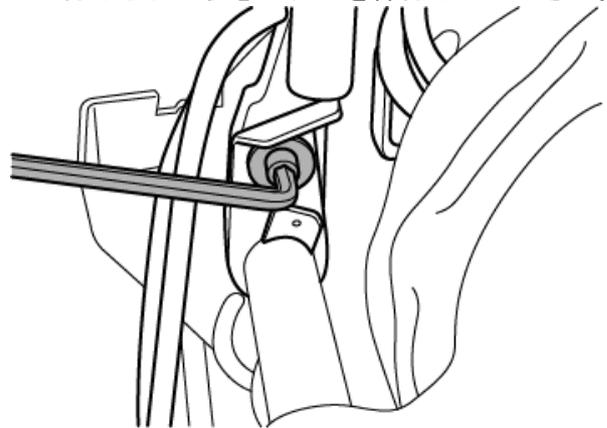


3. カタピンに丸のこブラケットを取り付けて丸のこを立てた状態でブレーキアームを取り付けてください。



ブレーキアーム

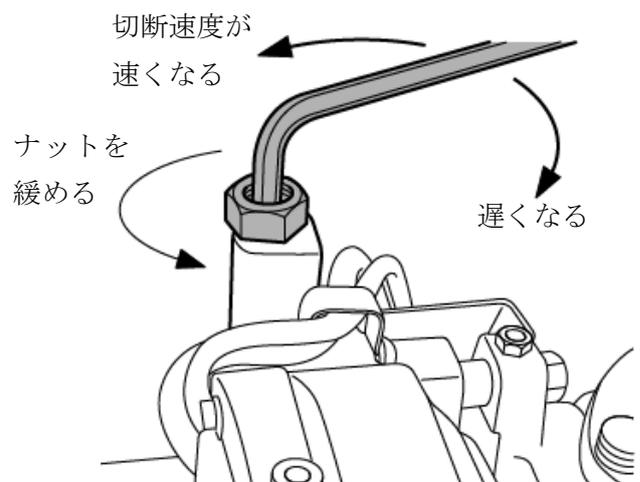
4. 丸のこを倒し、ブレーキゴムがガイドバーに押し付けられた状態でねじを締付けてください。



5. 丸のこのねじ切り機接続用メスプラグにねじ切り機の電源プラグ差し込んでください。
(P11 5. 参照)

・切断時間の調整方法

切断時間の目安は50Aを新品刃で9～13秒。
(範囲外の場合は調整してください。)



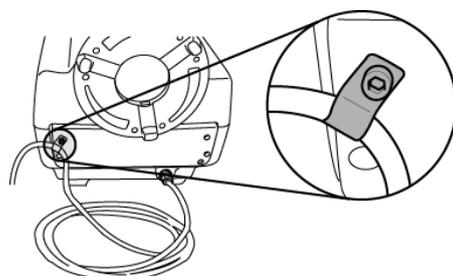
⚠ 注意

その他



◆切断時間の調整で目安時間よりも速くしないでください。
刃が欠けます。

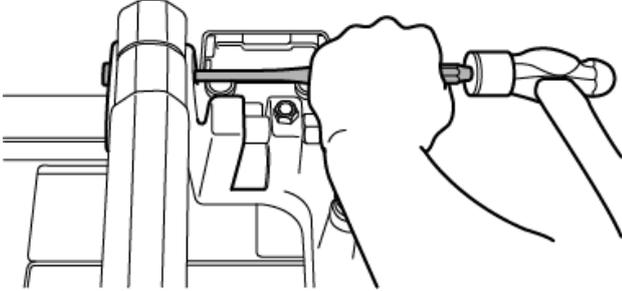
・コードフック取付場所



丸のこ

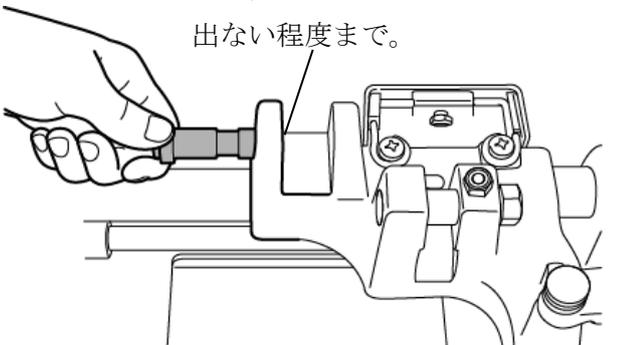
5) ビーバー80への取付方法

1. 付属のピン抜き棒と、お手持ちのハンマーでカッタピンを抜いて押し切りパイプカッタを外してください。



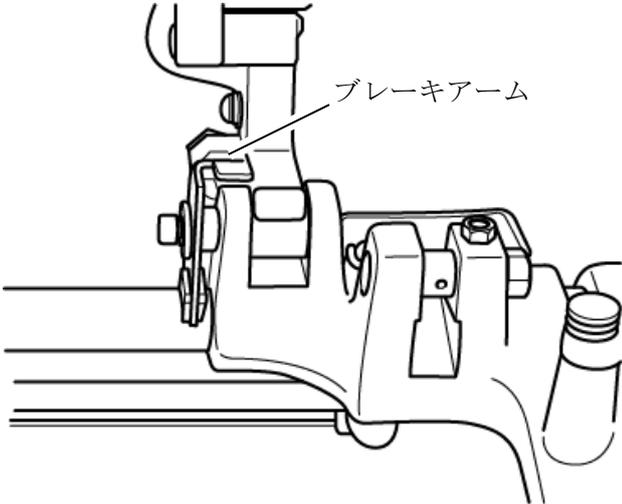
2. 丸のこのカッタピンと丸ノコブラケットを取り付けてください。

この面からピンが出ない程度まで。

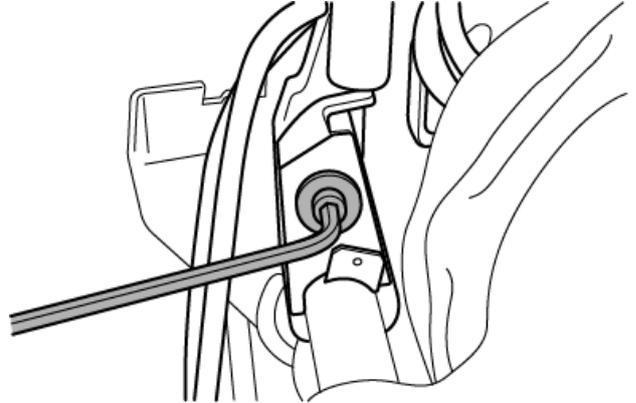


3. 丸のこを立てた状態でブレーキアームを取り付けてください。

ブレーキアーム



4. 丸のこを倒し、ブレーキゴムがガイドバーに押し付けられた状態でねじを締付けてください。

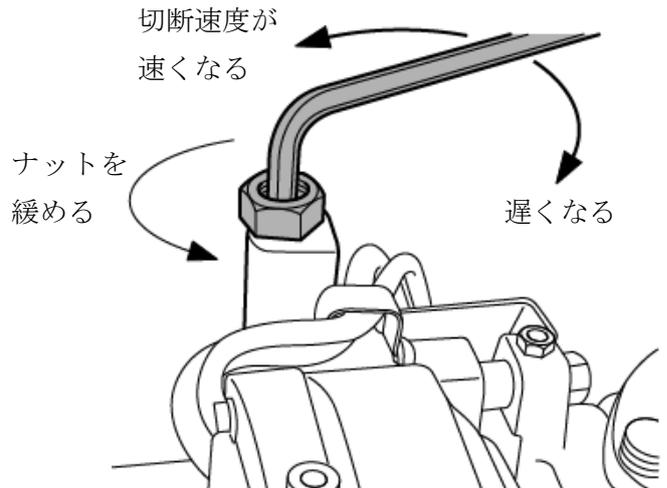


5. 丸のこのねじ切り機接続用メスプラグにねじ切り機の電源プラグ差し込んでください。

(P11 5. 参照)

・切断時間の調整方法

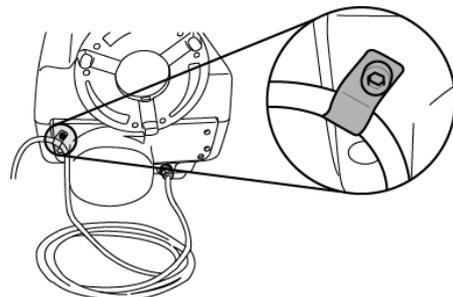
切断時間の目安は50Aを新品刃で9~13秒。
(範囲外のものは調整してください。)



⚠ 注意

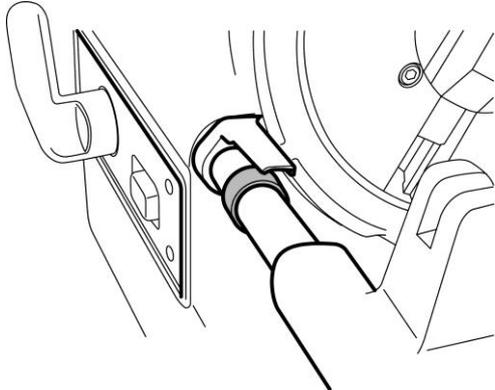
◆切断時間の調整で目安時間よりも速くしないでください。
刃が欠けます。

・コードフック取付場所

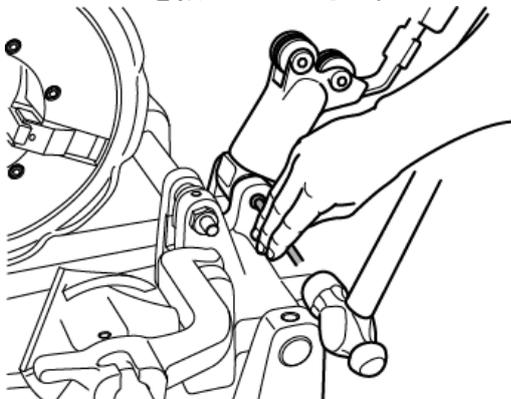


6) ビーバー100への取付方法

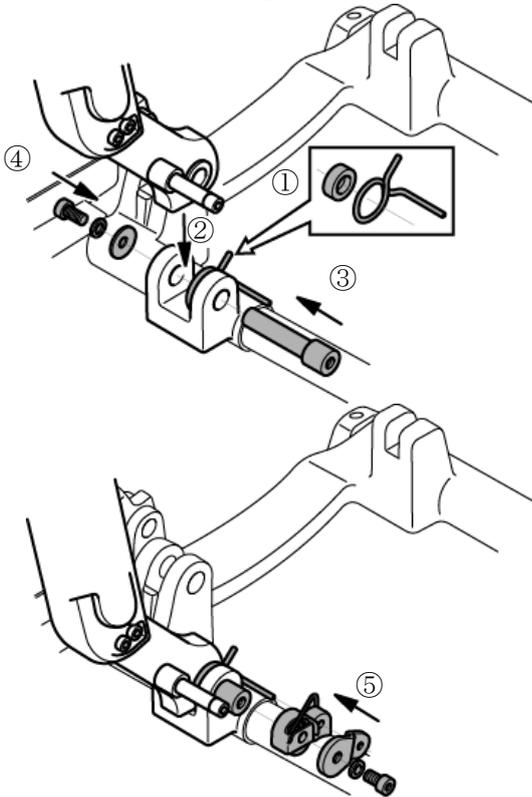
1. ガイドバーをはずし、カラーを取り付ける。



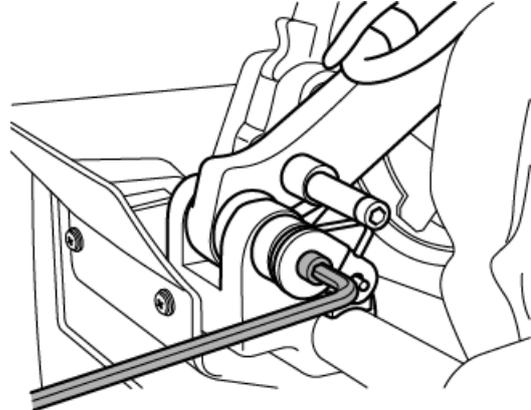
2. 付属のピン抜き棒と、お手持ちのハンマーで
カッターピンを抜いてください。



3. 図の順番で丸のこを取り付ける。



4. 丸のこを倒し、ブレーキゴムがガイドバーに押し付けられた状態でねじを締付けてください。

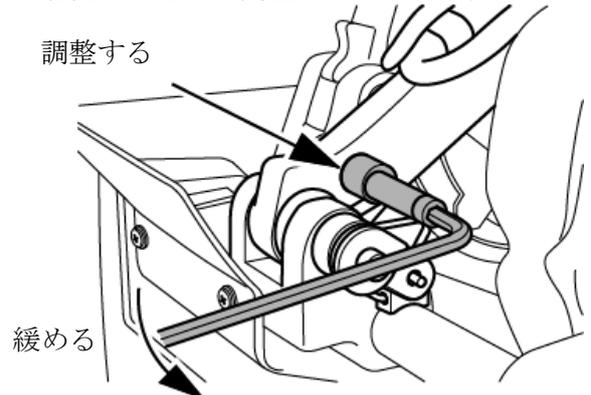


5. 丸のこのねじ切り機接続用メスプラグにねじ切り機の電源プラグ差し込んでください。
(P115参照)

・切断時間の調整方法

切断時間の目安は100Aを新品刃で29~31秒。
(範囲外の場合は調整してください。)

調整する



緩める

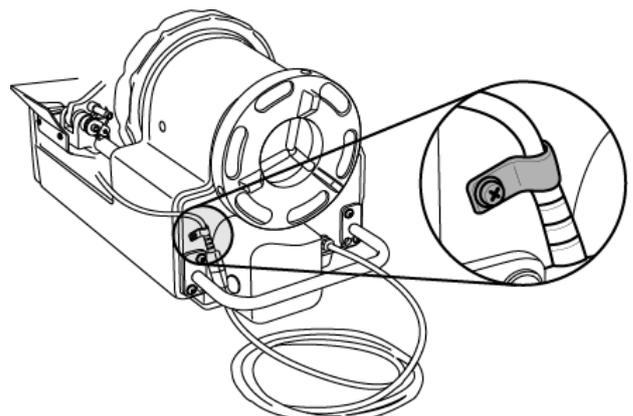
⚠ 注意

その他



◆切断時間の調整で目安時間よりも速くしないでください。
刃が欠けます。

・コードフック取付場所



4. 操作

●ねじ切り機の運搬・据え付け・操作についてはねじ切り機取扱説明書を参照してください。

1) 運転前の準備

警告

感電



- ◆感電し、死亡することがあります。必ずアースをしてください。
- ◆延長コードはアース線を備えた3芯キャプタイヤケーブルを使用し、屋外使用の場合は特に気を付けて丈夫な物をご使用ください。

爆発



- ◆アース線をガス管に取り付けると爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。

①本機及びねじ切り機のスイッチがOFFを確認し、電源プラグをコンセントに差し込みます。2芯のコンセントでは、必ずアースをしてください。

2) 材料をセット

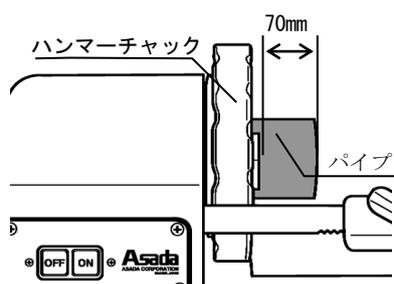
●材料をセットについてはねじ切り機取扱説明書を参照してください。

注意

その他



- ◆ハンマーチャックから70mm以内での切断はやめてください。切断完了前に丸のこがチャックに当り機械を破損する場合があります。



3) 切断



注意

火災



◆発熱、発煙、発火の原因となるので、電源電圧は100Vでご使用ください。

刃物



◆丸のこのスイッチをOFFにしても、刃はしばらく回転しています。絶対に触れないでください。

◆刃を回転させたまま、放置しないでください。

飛散



◆運転中は安全メガネを着用してください。

◆切断中は切粉が飛散しますので、手や顔を近づけないでください。ケガや事故の原因になります。

高温



◆切断直後の丸のこの刃や切粉は高温です。素手で触れないでください。

騒音



◆騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

その他



◆丸のこの押しボタンを押したままでスイッチをONにしたり、回転中に押しボタンを押さないでください。本機を損傷するばかりでなく、ケガや事故の原因になります。

◆必ず手袋をして、取り付けや刃物の交換をしてください。

◆本機のスイッチをOFFにし電源プラグを抜いて、丸のこのスイッチをOFFにし、丸のこを本体に取り付けます。

◆刃物が露出しているとケガをします、必ずアクリルカバーを付けてご使用ください。

◆のこ刃は純正部品を使用してください。指定外ののこ刃を使用しますと、ケガや事故の原因となります。

◆丸のこを材料に押し付けしないでください。刃が欠けます。

◆切粉は鋭利ですから、素手で触らないで必ず手袋をはめてください。

◆切断終了後、パイプ内部の切粉は取り除いてください。

◆長尺パイプの切断には、パイプ受台を使用してください。

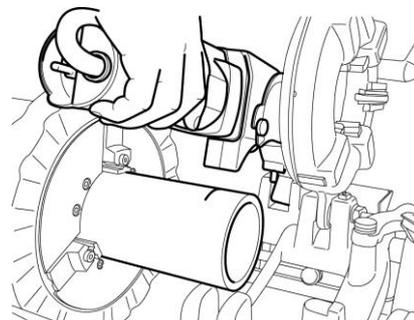
◆材料の切り落とし側が長いときは、切り落とし側に安定性のよい台を設けてください。

◆切り落とし寸前や切断中に、材料の重みで刃物が挟み込まれないように受台を設けてください。

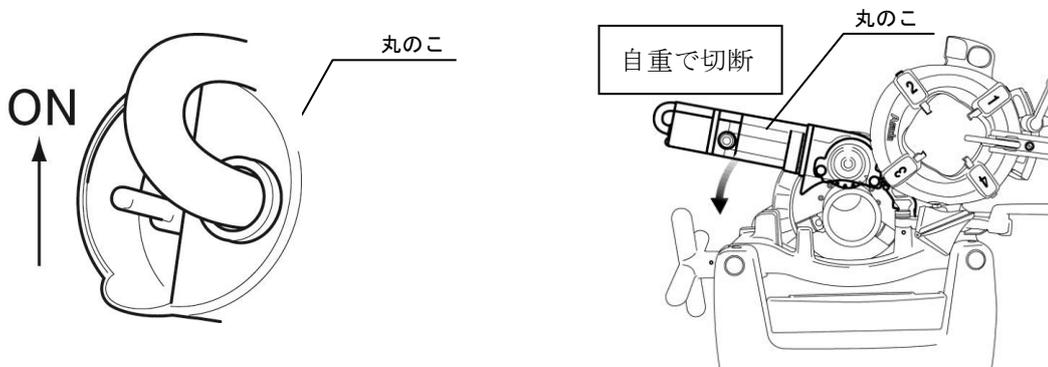
◆パイプ受台がないと、刃物が挟み込まれ、回転が停止したり、刃物が破損したりし、機械の故障や事故、ケガの原因になります。

丸のこ

- ①丸のこを上を起こし、ラックハンドルを回し
材料の切断位置に丸のこ刃を移動します。



- ②本機と丸のこのスイッチを ON にします。
③丸のこを下に降ろし、材料の上にゆっくりと置いてください。



- ④材料を切り終わったら丸のこのスイッチを OFF にし、ゆっくり上に起こします。

5) 使用後の清掃

注意

飛散



◆切粉をエアで吹き飛ばさないでください。目に入り失明することがあります。

刃物



◆切粉は鋭利ですから、素手で触らないでください。必ず手袋をはめてください。

- 本機上や周りに散乱している切粉を取り除きます。
- 切粉がついてるチャック、チェーザ、リーマ、丸のこをワイヤーブラシで掃除してください。
- 本機や周りに飛散したねじ切りオイルをウエスで拭き取ってください。

5. 保守・点検

1) 各部の交換

1-1) のこ刃の交換



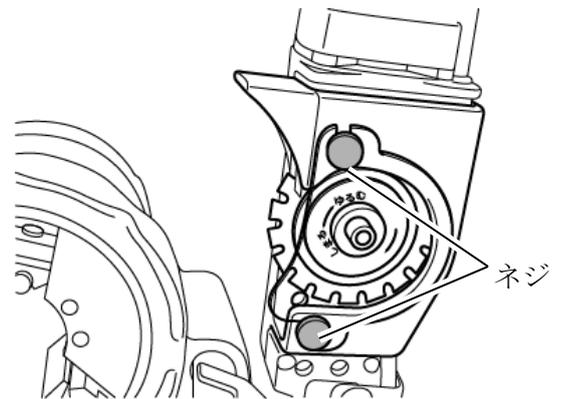
注意

刃物

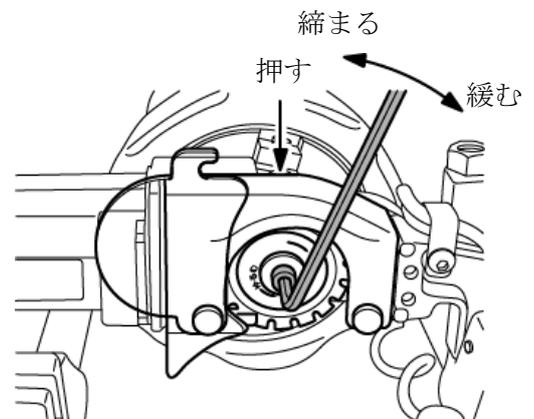


- ◆交換する際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
- ◆のこ刃で指を切らないように、手袋をはめて作業してください。

- ①アクリルカバーを止めているねじを2本ゆるめてアクリルカバーを開きます。



- ②本体上部の押しボタンを押して、軸を固定し締め付けボルトをゆるめます。締め付けボルトは左ねじですので、時計方向へ回してゆるめます。



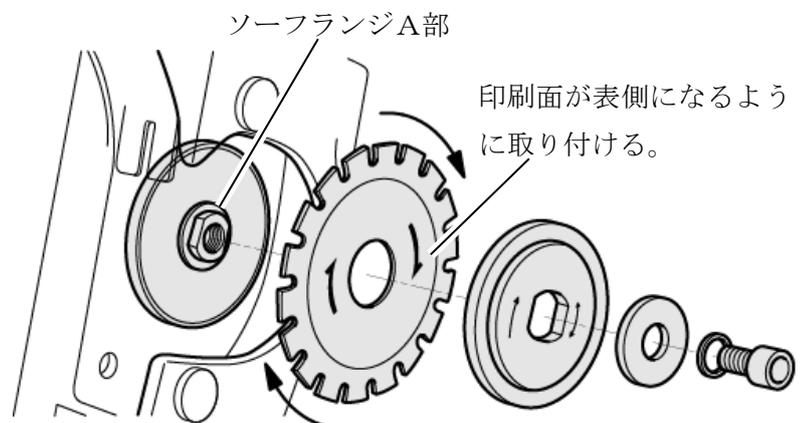
注意

その他



- ◆押しボタンが戻っている事を必ず確認してください。戻っていない状態でスイッチを入れると、本機を損傷するだけでなくケガや事故の原因となります。

- ③のこ刃中心の穴が、ソーフランジA部にはまり込んだことを確認し、のこ刃にガタがないことを確認して、ボルトを締め付けます。



丸のこ

1-2) カーボンブラシの交換



感電



◆感電しますので必ず電源プラグを抜いてください。



その他

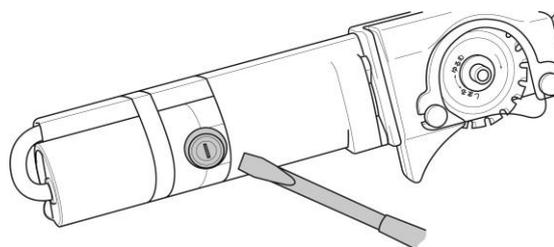


◆カーボンブラシは時々点検してください。

◆カーボンブラシの長さが5mm以下になる前に交換してください。
本機の故障の原因となります。

◆新品のカーボンブラシにオイル、ごみ、切粉等を付けないでください。
手袋等の汚れが付かないようにしてください。

- ① ⊖ドライバーでブラシホルダーキャップを回し、
カーボンブラシを取り出してください。
- ②新品のカーボンブラシを差し込みますが、指等に
付いたオイルやごみや切粉で汚さないようにして
ください。
- ③ブラシホルダーキャップを取り付け、⊖ドライバー
で締め込んでください。



2) 日常の点検と手入れ

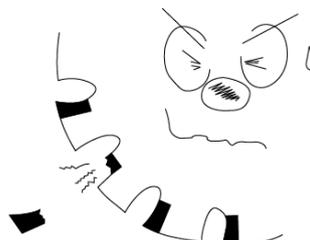


感電

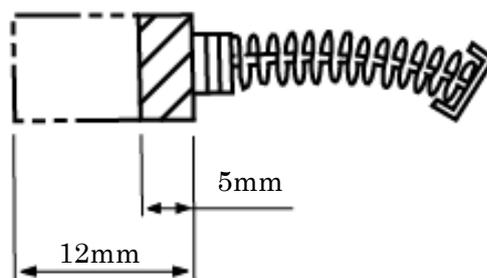


◆モータ部は水やオイル等で濡らさないようにしてください。

- 電源プラグ、電源コードや延長コードが破損していたら、すぐに交換してください。
- のこ刃に刃欠けはないか。 あれば交換してください。



- カーボンブラシは5 mm以下でないか
5 mm以下であれば交換してください



- 各部の取り付けねじが緩んでいないか。 緩んだまま使用すると危険ですので、増し締めをしてください。
- 本機に付いているごみや切粉を拭き取ってください。
- 長時間使用しない場合は、錆止めをして保管してください。

6. 修理・サービスを依頼される前に

1) 材料・丸のこの回転力が足りない

- 電源電圧が低下していませんか。
- 延長コードが長すぎたり、細すぎませんか。

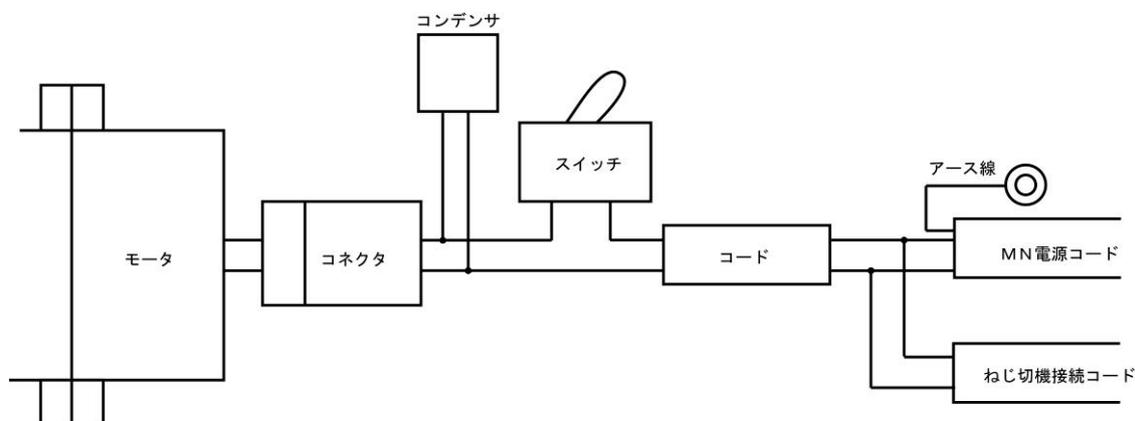
2) 切断できない

- のこ刃の取り付け方向は正しいですか。
- 締め付けボルトが緩んでいませんか。
- ブラケットとサドルの接地面に切粉はありませんか。

3) 切断時間が長い

- のこ刃の刃欠け、損傷はありませんか。
- 切断速度調整は適切ですか。

7. 電気配線図



●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号 :
購入年月日: 年 月 日
お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支 店 / 東京・名古屋・大阪
営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

海外事業所
アサダ・タイランド社 (バンコク) アサダ・インド社 (ムンバイ)
台湾浅田股份有限公司 (台北) 上海浅田進出口有限公司 (上海)
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン) アサダ USA (オレゴン州ユージン)

工 場
犬山工場 (愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社 (松 阪 市)
アサダ・マシナリー社 (バンコク)

製品の使用方法に関するお問合せは

☎ 0120-114510 (イシゴト)

(受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土・日・祝日は除く)

www.asada.co.jp

Ver.08 Code No.MN241 Q